

臨床研究に関する情報公開

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p>＜研究課題名＞</p> <p>pegfilgrastim による全身痛に対する誘発因子の検索</p>
<p>＜研究機関・研究責任者名＞</p> <p>日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部（研究責任者）坪井 伸也 日本大学薬学部（共同研究機関）</p>
<p>＜研究期間＞</p> <p>承認日 ～ 西暦 2020 年 3 月 31 日</p>
<p>＜研究の目的と意義＞</p> <p>ジーラスタは、化学療法に伴う白血球、好中球の減少を予防するために使われる薬です。白血球や好中球が少なくなり、さらに発熱した場合には入院での治療や抗菌薬の投与が必要になり予定された化学療法ができなくなる可能性があるため、白血球、好中球減少のマネジメントは重要です。一方で、ジーラスタを投与すると副作用として全身痛を生じることが一般的に言われています。この副作用が発現する関連因子は明らかになっていません。そこで、今回我々はジーラスタにおいて、全身痛の起こりやすい原因を明らかにすることを目的としています。</p> <p>この研究を行うことにより、ジーラスタによる全身痛を予め予期し予定通り化学療法を行えるようにすることを期待しています。</p>
<p>＜利用する試料・情報の項目＞</p> <p>皆様の診察時に得られる臨床検査値、医師記録などのデータを使用して研究を行います。</p>
<p>＜対象となる患者さん＞</p> <p>西暦 2015 年 8 月～2018 年 5 月の期間にジーラスタを投与された方</p>
<p>＜研究の方法＞</p> <p>全身痛のある方とない方に分け、年齢や現病歴など痛みの原因と考えられる項目について比較を行います。</p>
<p>＜お問い合わせ窓口＞</p> <p>日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1) 薬剤部 氏名:坪井 伸也 電話:03-3972-8111 内線:(薬剤部)3012</p>